

Ⅲ 産 業

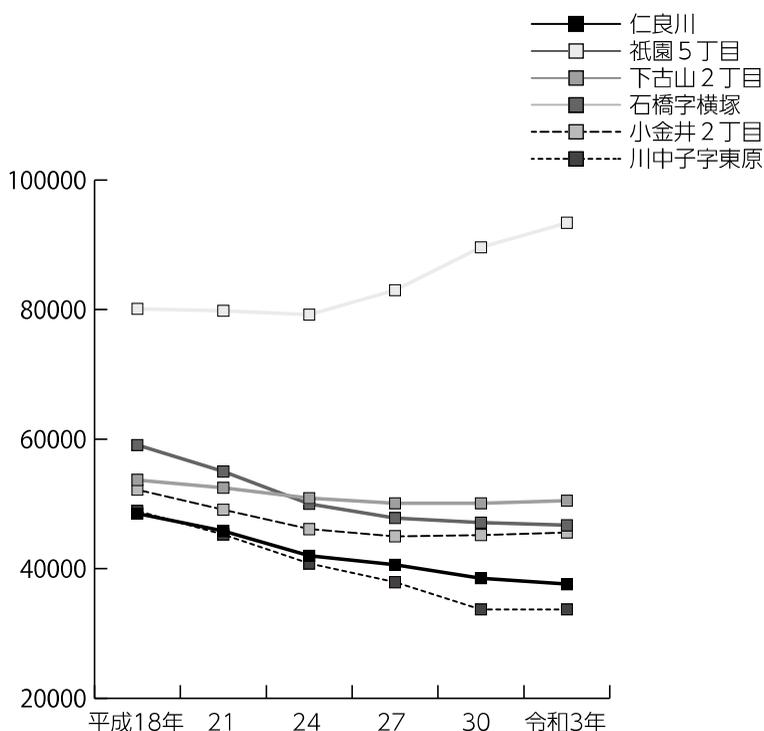
1. 地価動向

住宅地の地価

単位：円/㎡

	平成18年	21	24	27	30	令和3年
仁 良 川	48,500	45,800	42,000	40,600	38,500	37,600
祇園5丁目	80,100	79,800	79,200	83,000	89,600	93,400
下古山2丁目	53,700	52,500	50,900	50,100	50,100	50,500
石橋字横塚	59,100	55,000	50,000	47,800	47,100	46,700
小金井2丁目	52,200	49,100	46,100	45,000	45,200	45,600
川中子字東原	48,900	45,300	40,800	37,900	33,700	33,700

資料：地価公示



解 説

地価公示は、地価公示法第2条第1項の規定に基づき、国土交通省土地鑑定委員会が毎年1月1日における全国の標準地の正常な価格を調査、公示するものです。地価公示制度は、一般の土地の取引価格の指標、不動産鑑定士等の鑑定評価の規準、公共事業用地の取得価格算定の規準とされ、また、相続税評価、固定資産税評価の目安、国土利用計画法に基づく土地取引の届出制における価格算定の規準等となるものです。

2. 産業

(1) 産業別就業者数

第1次産業、第2次産業ともに就業者数は減少傾向となっているが、反対に第3次産業の就業者数は増加している。

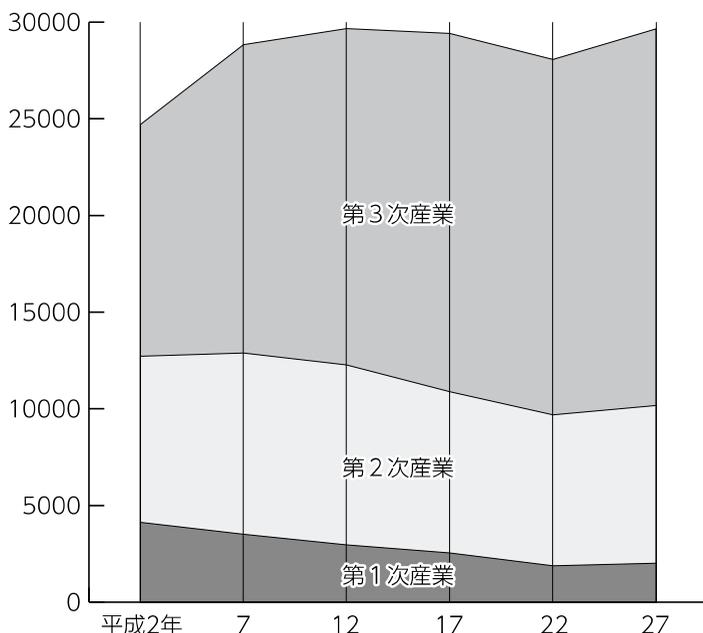
産業別就業者数の推移

単位：人

	平成2年	7	12	17	22	27
第1次産業	4,129	3,517	2,971	2,553	1,881	2,015
第2次産業	8,585	9,376	9,302	8,340	7,803	8,165
第3次産業	11,974	15,922	17,387	18,526	18,390	19,471

※ 3町の合計を下野市として作成

資料：国勢調査



解説

国勢調査に用いている産業分類は、日本標準産業分類を国勢調査に適合するように集約して編成したものであり、産業大分類を3部門に集約している場合、おおむね以下のような区分になる。

第1次産業・・・農業、林業、水産業

第2次産業・・・製造業、鉱業、建設業

第3次産業・・・卸売・小売業、金融・保険業、運輸・通信業、サービス業など

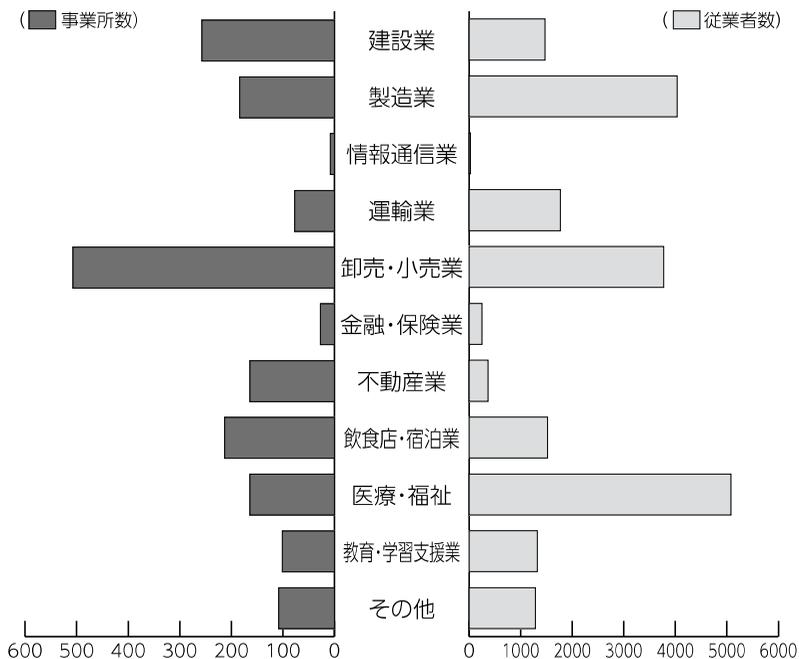
(2) 事業所数と従業者数

事業所数は卸売・小売業が最も多いが、従業者数は医療・福祉が最も多くなっていることから、医療・福祉に関わる人が多いことがわかる。

産業(大分類)別事業所数と従業者数

	建設業	製造業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療・福祉	教育・学習支援業	その他
事業所数	250	184	8	77	507	27	164	213	164	101	108
従業者数	1,474	4,033	26	1,768	3,776	250	365	1,521	5,080	1,326	1,283

資料：平成28年経済センサス基礎調査



3. 商業

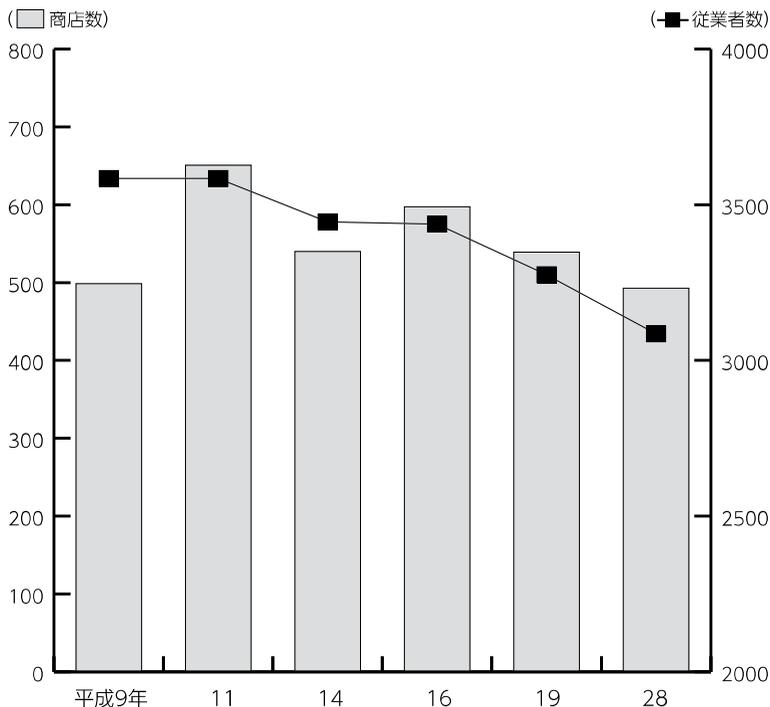
(1) 商店数と従業者数

平成9年から平成28年までの間に商店数はおよそ3割減少しているが、従業者数の減少は1割に満たないことが分かる。

商店数と従業者数の推移

	平成9年	11	14	16	19	28
商店数	634	634	578	575	510	434
従業者数	3,247	3,627	3,350	3,494	3,348	3,232

資料：商業統計調査、経済センサス活動調査



参考

平成28年経済センサス基礎調査の商店数と従業者数

	商店数	従業者数		商店数	従業者数
宇都宮市	4,794	44,375	真岡市	665	4,675
足利市	1,525	10,202	大田原市	693	4,352
栃木市	1,514	10,168	矢板市	319	2,062
佐野市	1,445	9,379	那須塩原市	1,190	8,967
鹿沼市	952	6,428	さくら市	326	2,355
日光市	934	5,306	那須烏山市	258	1,412
小山市	1,406	12,112			

平成28年7月1日現在

(2) 年間商品販売額

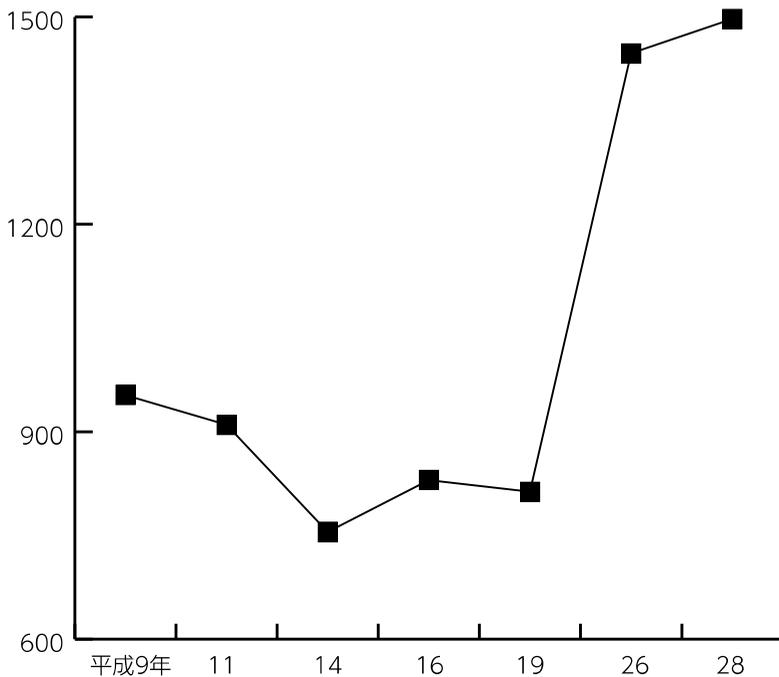
年間商品販売額は、商店数や従業者数の減少とともに減少傾向にある。
 ※平成19年以前と平成26年以降の比較にあたっては、調査区分の変更により集計対象が異なることに留意が必要である。

商店の年間商品販売額の推移

単位：億円

	平成9年	11	14	16	19	26	28
年間商品販売額	953	910	755	830	813	1,447	1,497

資料：商業統計調査、経済センサス活動調査



参考

平成28年商業統計調査の年間商品販売額

単位：億円

宇都宮市	26,144	日光市	1,083	那須塩原市	2,635
足利市	2,806	小山市	4,509	さくら市	547
栃木市	2,842	真岡市	1,198	那須烏山市	314
佐野市	3,405	大田原市	1,214		
鹿沼市	1,939	矢板市	455		

平成28年7月1日現在

4. 工業

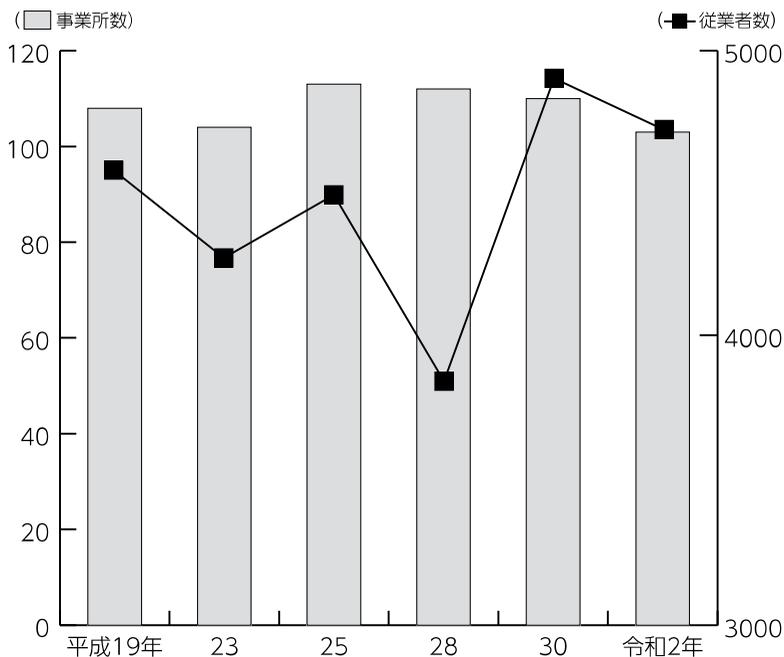
(1) 事業所数と従業者数

生産活動を行う事業所数はほぼ横ばいで推移している。

生産活動を行う事業所数と従業者数の推移

	平成19年	23	25	28	30	令和2年
事業所数	108	104	113	112	110	103
従業者数	4,576	4,271	4,490	3,841	4,896	4,717

資料：工業統計、経済センサス活動調査
(従業者4人以上の事業所)



参考

令和2年工業統計調査の事業所数

	事業所数	従業者数		事業所数	従業者数
宇都宮市	501	32,623	真岡市	165	13,090
足利市	488	15,748	大田原市	158	12,683
栃木市	391	19,855	矢板市	62	2,249
佐野市	402	14,522	那須塩原市	229	10,701
鹿沼市	387	14,173	さくら市	100	5,034
日光市	181	7,065	那須烏山市	109	3,055
小山市	265	18,469			

(2) 製造品出荷額

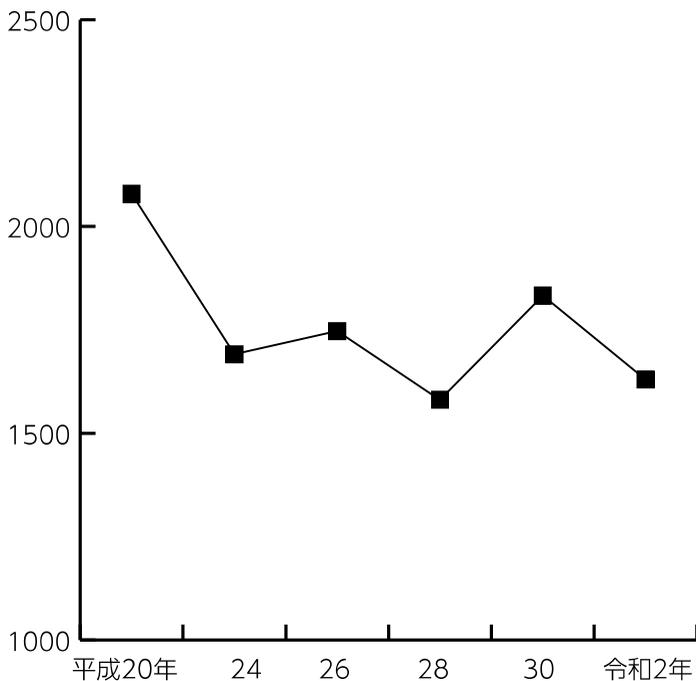
製造品出荷額は減少傾向にある。

製造品出荷額の推移

単位：億円

	平成20年	24	26	28	30	令和2年
製造品出荷額	2,079	1,691	1,747	1,581	1,833	1,630

資料：工業統計、経済センサス活動調査
(従業者4人以上の事業所)



参考

令和2年工業統計調査の製造品出荷額

単位：億円

宇都宮市	21,883	日光市	3,259	那須塩原市	3,486
足利市	3,876	小山市	9,110	さくら市	2,278
栃木市	10,948	真岡市	5,876	那須烏山市	636
佐野市	4,079	大田原市	6,276		
鹿沼市	4,450	矢板市	525		

5. 農業

(1) 農家数と経営耕地面積

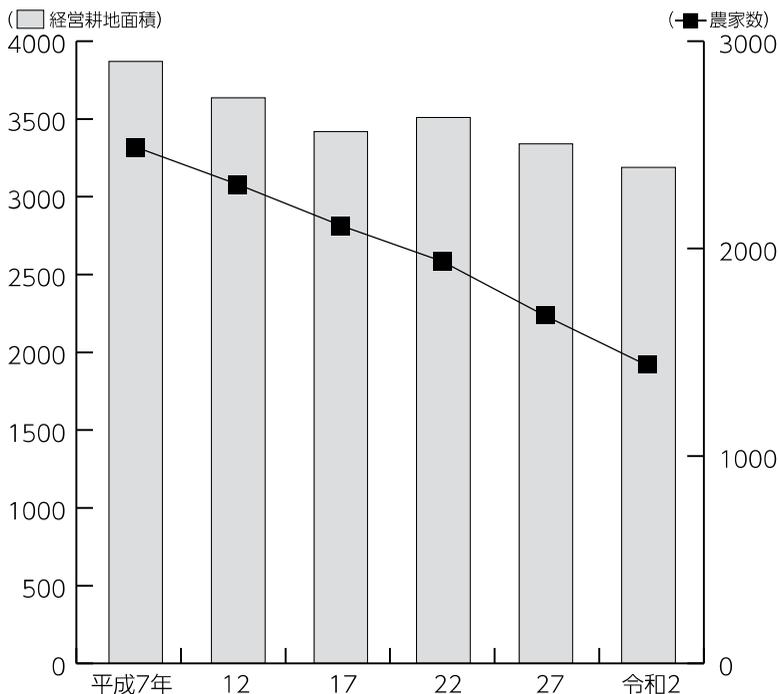
平成7年から令和2年にかけて、農家数はおおよそ4割減少しているものの、経営耕地面積はおおよそ2割程度の減少にとどまっている。

農家数経営耕地面積の推移

	平成7年	12	17	22	27	令和2年
農家数(戸)	2,508	2,330	2,133	1,961	1,702	1,464
経営耕地面積(ha)	3,885	3,651	3,431	3,523	3,352	3,201

※ 3町の合計を下野市として作成

資料：農林業センサス



参考

令和2年農林業センサス (農家数：戸、経営耕地面積：ha)

	農家数	経営耕地面積		農家数	経営耕地面積
宇都宮市	4,427	9,472	真岡市	3,073	6,748
足利市	1,530	1,609	大田原市	3,665	9,848
栃木市	4,403	7,391	矢板市	947	2,570
佐野市	2,225	2,395	那須塩原市	2,490	8,455
鹿沼市	2,782	3,997	さくら市	1,339	4,203
日光市	1,923	4,073	那須烏山市	1,624	2,308
小山市	2,532	5,922			

令和2年2月1日現在

(2) 類別経営体数と作付面積

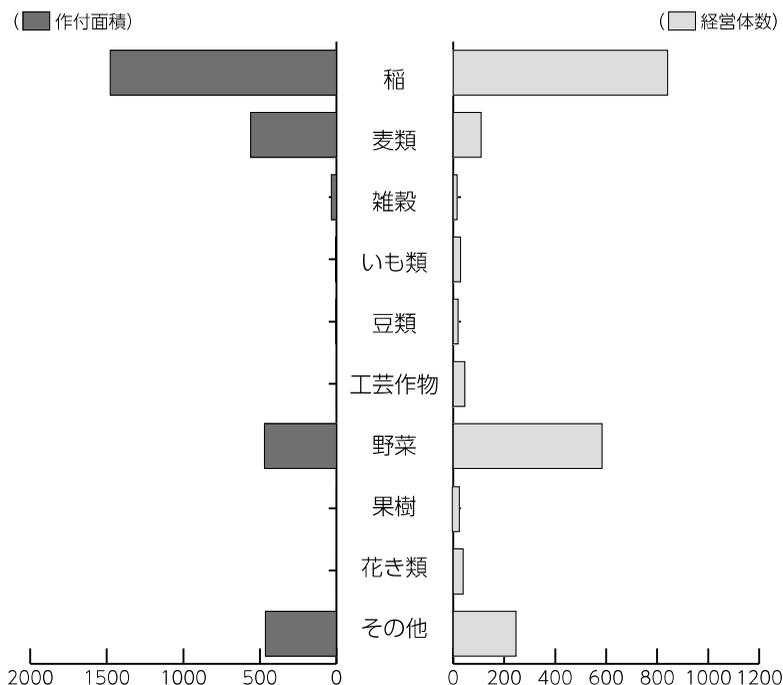
販売目的で作付け(栽培)した作物の類別経営体数をみると、稲が最も多く、作付面積も最も広いことがわかる。次いで野菜、麦類となっている。

販売目的で作付け(栽培)した作物の類別経営体数と作付面積

	稲	麦類	雑穀	いも類	豆類	工芸作物	野菜	果樹	花き類	その他
経営体数(戸)	841	109	15	29	19	46	584	28	39	246
作付面積(ha)	1,478	561	34	7	4	—	470	—	—	464

※稲は飼料用を除く

資料：農林業センサス(令和2年)



参考

令和2年農林業センサス (経営体数：戸、作付面積：ha)

	稲	麦類	雑穀	いも類	豆類	工芸作物	野菜	果樹	花き類	その他	
宇都宮市	経営体数	2,598	223	41	69	86	45	694	233	85	512
	作付面積	5,649		53	17	157		355	273		911
栃木市	経営体数	2,439	656	66	68	104	21	653	175	41	389
	作付面積	4,128			6	272	21		110		758
小山市	経営体数	1,433	398	19	27	67	45	514	115	37	489
	作付面積	2,835	1,659		11	184			71		1,050

令和2年2月1日現在

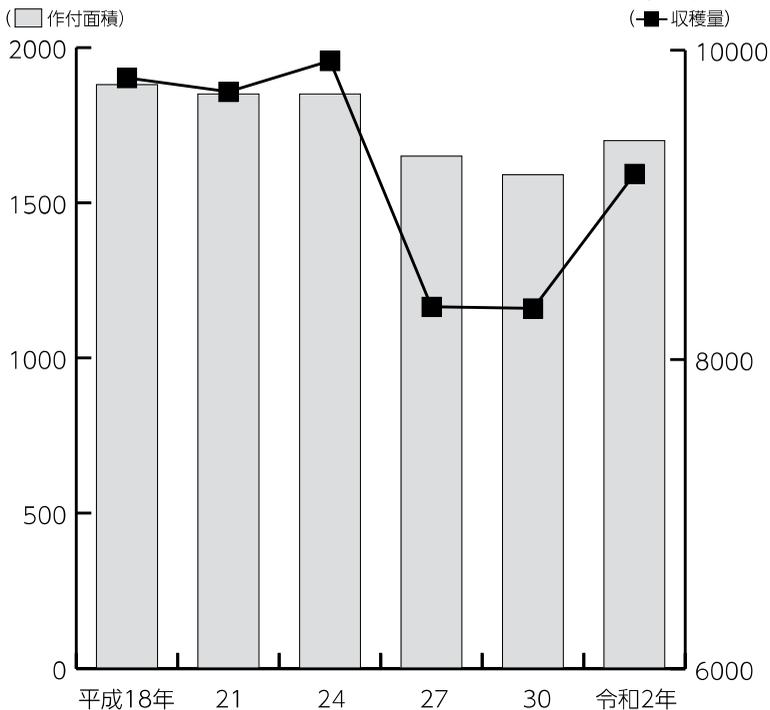
(3) 水稻収穫量と作付面積

平成18年と比べ、水稻の作付面積は微減となっており、併せて収穫量も微減になっている。

水稻収穫量と作付面積

	平成18年	21	24	27	30	令和2年
収穫量 (t)	9,820	9,730	9,930	8,340	8,330	9,200
作付面積 (ha)	1,880	1,850	1,850	1,650	1,590	1,700

資料：栃木県統計年鑑
(□ 作付面積) (■ 収穫量)



参考

令和2年水稻収穫量と作付面積 (収穫量: t、作付面積: ha)

	収穫量	作付面積		収穫量	作付面積
宇都宮市	35,000	6,480	真岡市	21,700	3,960
足利市	4,950	1,030	大田原市	37,900	6,580
栃木市	29,400	5,690	矢板市	9,100	1,750
佐野市	8,110	1,770	那須塩原市	23,700	4,170
鹿沼市	10,900	2,190	さくら市	18,400	3,320
日光市	11,900	2,340	那須烏山市	7,200	1,320
小山市	15,100	2,860			

資料：栃木県統計年鑑

6. 林業

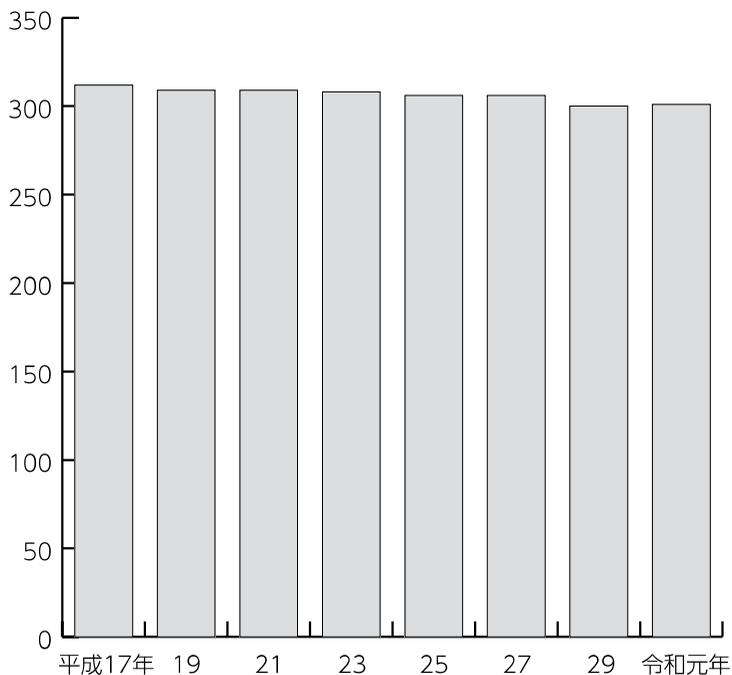
林野面積はほぼ横ばいで推移している。

林野面積の推移

単位：ha

	平成17年	19	21	23	25	27	29	令和元年
林野面積	312	309	309	308	306	306	300	301

資料：栃木県森林・林業統計書



参考

令和元年の林野面積

単位：ha

宇都宮市	8,091	日光市	125,235	那須塩原市	38,441
足利市	7,943	小山市	551	さくら市	2,415
栃木市	8,372	真岡市	1,424	那須烏山市	8,114
佐野市	21,813	大田原市	15,266		
鹿沼市	33,753	矢板市	9,770		

資料：栃木県森林・林業統計書